

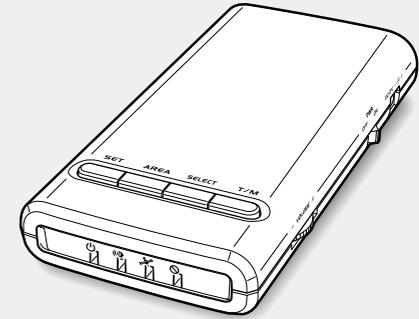
GPSアンテナ一体型レーダー探知機

GC-200

取扱説明書

12V車専用

このたびは、弊社製品のレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の前をもってお知らせする受信機です。



保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、**無料修理を行うこと**を、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 GC-200	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所	様 TEL()
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - 故障の原因が本製品以外にある場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

(チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換

- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

- **超高感度GPS 受信機能「GPS-EX(エクストラ)」搭載!**
高架下でも受信が途切れにくい。

- **インテリジェントキャンセル**

- **GPS測位機能**

- **3バンド受信機能**

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンド受信ができます。

- **EXTRA/エクストラ感度☆☆☆☆**

- **iDSP**

統合的デジタル信号処理技術(iデジタル)により、高精度識別を実現。

- **レーダーアラーム**

△注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

- ・レーダー波を放射しない(光電管式やステルス型取締りなど)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。

目次

はじめに

索引	2
安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
各部の名称と働き	8
取り付けかた	10
電源について	11
基本的な使いかた	12

使いかた

レーダー編	
レーダー波受信時の動作について (レーダーアラーム)	14
レーダー波3識別(iDSP)について	15

GPS編

GPS測位機能について	16
取締・検問エリア警告、圏外通知	19
エヌ(N)システム告知について	20
駐禁監視エリア告知について	21
AAC/ASSについて	22
インテリジェントキャンセル の使いかた	24
警告させたい地点を登録する (マイエリア)	25

その他

取締りのミニ知識	26
取締りレーダー波を受信しにくい場合	27
仕様	27
故障かな?と思ったら	28
GC-200 簡単操作ガイド	29
アフターサービスについて	31
保証書	裏表紙

■ ア

インテリジェントキャンセル 24

自動ドアなどによるレーダーアラーム(誤警報)を低減します。

ASS/最適感度選択 22

走行速度に応じた、最適な受信感度を自動的に選択します。

AAC/不要警報カット 22

停車中や時速30km未満での走行に対し、レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ)をカットします。

Nシステム 20

「自動車ナンバー読み取り装置」の設置をお知らせします。

オートクワイアット/オートディマー 15

自動的にレーダーアラーム音の音量が小さくなり、ランプも暗くなります。

オービス警報 17

オービスの種類(ループコイル式/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)を識別して警報を行います。

■ カ

後方受信 15

後方からの取締りレーダー波(X・Kバンド)も受信します。

■ サ

GPS測位機能 16

衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。

GPS11 識別 16

内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなど、11種類のターゲットを識別し、お知らせします。

ステルス型取締り機 15

事前に探知(受信)されないよう、待機中は電波を発射せず、スピードを出しすぎている車輛に対し、短時間強い電波を発射して速度を測定する「狙い撃ち方式」の取締り機です。

接近テンポアップ 14

取締りレーダー波発信元への接近(電波の強弱)にあわせて音と光が変化します。

■ タ

Wアラーム 14

音と光で、取締りレーダー波(X・Kバンド)の存在をお知らせします。

駐禁監視エリア告知 21

違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域内を告知します。

取締りエリア・検問エリア 19

過去に取締りや検問が行われた場所(取締りエリア・検問エリア)を警報します。

■ ハ

フレックスディマー 8

夜間はランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

■ マ

マイエリア 25

警告させたい地点などを登録することができます。

ミュート機能 15

レーダーアラーム音を一時的に止めます。

■ ラ

レーダーアラーム 14

取締りレーダー波(X・Kバンド)の存在を伝えます。

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：警告内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。

⚠注意：注意内容を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

-  この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
-  この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
-  この記号は、操作上の注意などを示します。
-  この記号は、関連するページを示します。

⚠警告

-  水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
-  機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
-  取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
-  万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  警報したときに慌てて急ブレーキをかけたり急発進をしない…安全運転上、大変危険です。また、本体などの破損・落下などによるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
-  バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
-  医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

警告

シガープラグコード接続時

-  シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
-  シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  めれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
-  表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
-  煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

注意

-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  取り付けや取り外しは確実に行う…落ちたりして、ケガや破損の原因となります。
-  突起部などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。
-  車から離れるときは、電源を切る…エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

シガープラグコード接続時

-  シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。
-  お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(●16ページ)が働かない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販の新しい管ヒューズ(1A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いて、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

レーダーアラーム(●14ページ)に関する注意

- 狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。(●15ページ)
- レーダー波を発射しない(光電管式やステルス型取締りなど)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

GPS測位機能(●16ページ)に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。

- GPS衛星の受信状況により、ターゲットまでの距離に誤差を生じる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、警報できませんので、あらかじめご了承ください。
- 左右方向識別ボイス(●18ページ)は、告知地点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- オービス3段階警報(●18ページ)、ターゲット通過告知(●18ページ)は、GPSの電波で計測しており、補正機能はございません。据付型のカーナビのように車速パルスの入力や、ジャイロによる補正は行っていないため、実際と差が生じることがございますので、目安程度にお考えください。

サンバイザーへの取り付け(●10ページ)に関する注意

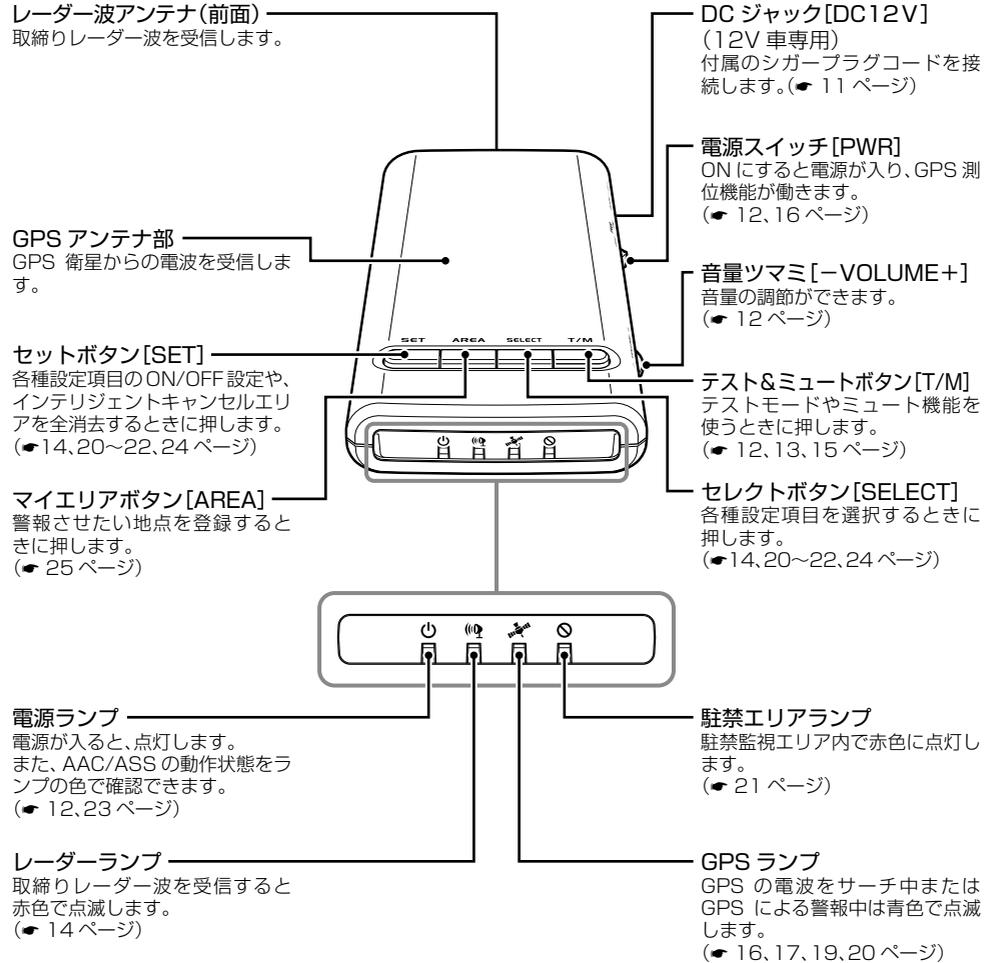
- 一部厚みのあるサンバイザーや特殊な形のサンバイザーには、取り付けできないことがあります。
- サンバイザーへ取り付けられた場合、サンバイザーは使用できなくなりますので、あらかじめご了承ください。
- サンバイザーへ取り付けられた場合、ほとんどの車種は、GPSアンテナが車体のルーフ(金属物)の陰になります。本機は、このような場合でも、GPSの電波が受信できるよう、従来の機種より高感度なGPSアンテナを使用しておりますが、万が一、GPSの電波が受信しにくい場合は、ダッシュボードへの取り付けに変更することをお勧めいたします。

音に関する注意

- 交通量の多い都会や、都市ノイズの多い場所、窓を開けたり、カーオーディオが鳴っている場合、本機のスピーカー音量を「最大」にしても、音が聞こえにくいことがあります。

各部の名称と働き

本体



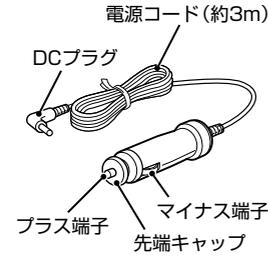
●フレックスディマー

夜間はランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。
GPS の時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて自動的にランプの明るさを調整します

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

●シガープラグコード(1)



●粘着マット(1)

●ワイヤークリップ(1)

●クッション(1)

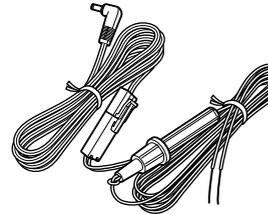
●取扱説明書・保証書(1)

別売品のお知らせ

■電源直結コードOP-4(約4m)

1,575円(税込)

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。



粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。はがしても跡が残りにくいの
が特長です。

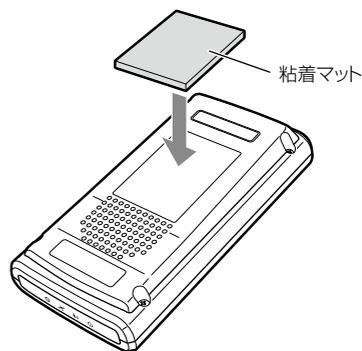
■粘着マットの上手な使いかた

- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
 - 貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり貼り付けてください。
 - できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
 - ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。
- 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、市販の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し、固定してください。
まれに、ダッシュボードが変色・変形(跡が残る)することがありますので、あらかじめご了承ください。

取り付けかた

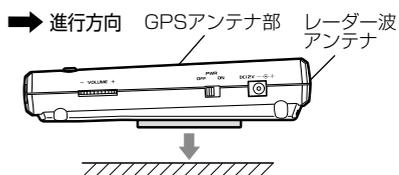
ダッシュボードに取り付ける

1 本体に付属の粘着マットを貼り付ける



2 ダッシュボードに固定する

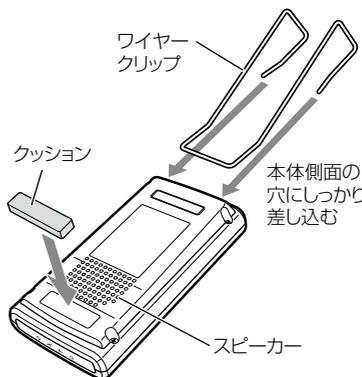
- 道路に対してできるだけ水平に近く、レーダー波アンテナが進行方向を向くように固定してください。
- レーダー波アンテナが金属物(ワイパー等)で覆い被さらないように固定してください。



サンバイザーに取り付ける

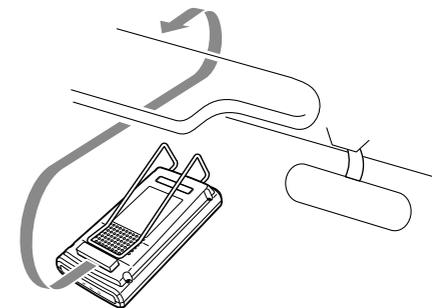
1 付属のワイヤークリップの取り付けとクッションを貼り付ける

- クッションは保護シートをはがし、しっかりと貼り付けてください。
- 付属のクッションを貼らずに、サンバイザーへ取り付けると、スピーカーがサンバイザーで塞がってしまい、音がこもることがあります。必ず、付属のクッションを貼り付け、スピーカーとサンバイザーの間にすき間を設けてください。



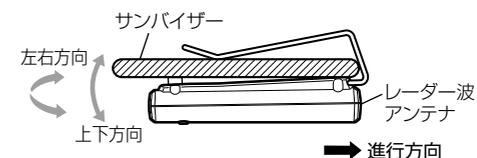
2 サンバイザーに挟み込む

- クッションがはがれないようにご注意ください。



3 サンバイザーを上下、本体を左右に動かして本体の取り付け角度を調節する

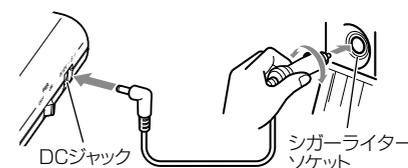
- 道路に対してできるだけ水平に近く、また、レーダー波アンテナが進行方向を向くようにしてください。
- レーダー波アンテナの前にテレビのフィルムアンテナや金属の障害物がこないようにしてください。



電源について

付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは2、3回左右にひねりながら差し込みます。



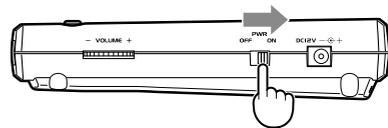
※ 必ず本体を設置したあとで、シガープラグコードを接続してください。

基本的な使いかた

1 電源を入れる

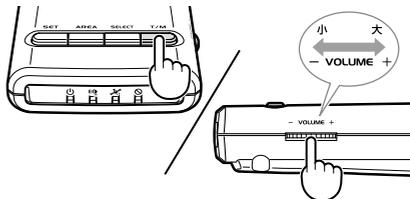
車のエンジンを始動し、電源スイッチをONにすると『ピッピッ』とお知らせします。

電源が入ると「GPS測位機能」(▶16ページ)が働き、GPSの電波を受信すると「ボーン 測位しました」とお知らせします。



2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。



3 実際に走行してみる

GPSターゲットに近づくとき…



「ボーン 1km先
レーダーです」※

※レーダー式オービスの場合

取締レーダー波を受信するとき…

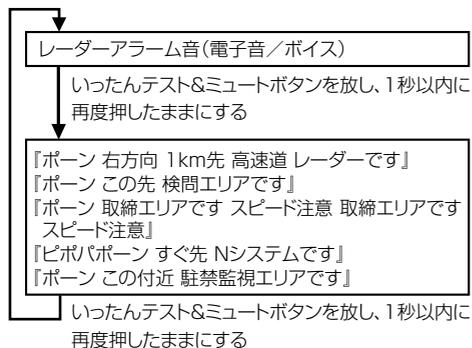


「ピンポーン
ピンポーン
スピード注意」

テストモード

「T/M」テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、▶14ページで設定したレーダーアラーム音(電子音/ボイスのいずれか)や音量を確認することができます。
いったんテスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押したままにすると、下記音声の確認ができます。

・テストモード中は、レーダーランプ(赤色)が点滅しません。



レーダー波受信時の動作について (レーダーアラーム)

本機は、Wアラームと接近テンポアップにより、取締りレーダー波(X・Kバンド)の存在を伝えます。

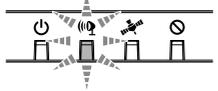
Wアラーム

音(電子音/ボイス)と光(レーダーランプ)で、取締りレーダー波(X・Kバンド)の存在をお知らせします。

〈警報音〉

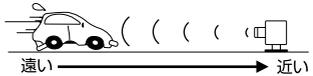
① 「ピッピッピッ…」
(電子音の場合)

〈レーダーランプ〉
赤色で点滅します。



接近テンポアップ

取締りレーダー波発信元への接近(電波の強弱)にあわせて音と光が変化します。

取締りレーダー波 発信元との距離	
警報音	断続音 ① 「ピッピッピッ…」から連続音 ② 「ビー」に変化します。
レーダーランプ	遅い点滅から早い点滅または点灯に変化します。

※ レーダーアラームの警報音が「ボイス」に設定されているときは、警報音のテンポアップはしません。

レーダーアラーム音について

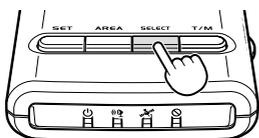
レーダーアラームの警報音(Wアラームの警報音と接近テンポアップの警報音)を「ボイス」または、「電子音」のいずれかに選択することができます。

選択項目	警報のしかた
ボイス	「ピンポン ピンポン スピード注意」とボイスで警報します。
電子音	「ピッピッピッ…」という電子音で警報します。

レーダーアラーム音の選択方法

初期値(工場出荷時)は「ボイス」に設定されています。

1 セレクトボタンを1回押す

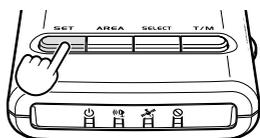


「ボイス ONです」または、「ボイス OFFです」とお知らせします。

【(ボイス) ONです】 : ボイスに設定されます。

【(ボイス) OFFです】 : 電子音に設定されます。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに、『OFFです』↔『ONです』と交互にお知らせし、設定変更できます。

※ 『ONです』のお知らせで「ボイス」、『OFFです』のお知らせで「電子音」に設定されます。

・ 設定変更後は、しばらくそのままにしておくと、設定が終了します。

オートクワイアット/オートディマー

レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ ●14ページ)が約30秒以上動くと、自動的に音量が小さくなり、ランプも暗くなります。

後方受信

iDSPによる高精度識別およびエクストラ感度により、後方からの取締りレーダー波も受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信元の確認ができればレーダーアラーム(●14ページ)が作動中に「T/M」テスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、Wアラームの警報音と接近テンポアップの警報音を一時的に止めることができます。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は iDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波(レーダー波)」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常のレーダー波と区別して『ステルスです』とボイスでお知らせします。

さらに、インテリジェントキャンセル(●24ページ)により、取締りレーダー波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。【ステルス識別】【インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号】

- ・ iDSPを解除することはできません。
- ・ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行の際はくれぐれもご注意ください。
- ・ 本機はフリップチップinアンテナ【特許第3229564号】を採用しています。

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に本機で探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、スピードを出しすぎている車輛に対し、短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ・ ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。
- ・ レーダー波を発射しない(光電管式やステルス型取締り等)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波の識別警報することがあります。
- ・ ステルス型取締り機の電波を受信すると、ボイスでステルス波の識別警報をします。

<ステルス波を受信したとき>

- 専用のボイスでお知らせします。
【ステルス波の識別警報】

受信 ↓

① ピロピロ…(約2秒間)
「ステルスです
ステルスです」

『ステルスです』とお知らせしたあとは、通常のレーダーアラーム音(電子音/ボイスのいずれか)になります。





GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取縮りレーダー波を放射しないループコイル式、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。また、固定設置式のオービスだけでなく、過去に取縮りや検問などが行われた場所(取縮エリア・検問エリア)など、11種類のターゲットを識別して警報します。

【GPS11 識別】

①	ループコイル式	(● 17ページ)
②	LHシステム	(● 17ページ)
③	新Hシステム	(● 17ページ)
④	レーダー式オービス	(● 17ページ)
⑤	トンネル出口ターゲット	(● 18ページ)
⑥	取縮エリア	(● 19ページ)

●GPSデータの更新について

本機には、あらかじめオービス(無人式自動速度取締装置)やNシステムなどのGPSデータが登録されています。

新規ポイントを盛り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料(送料別：税込¥5,250)にてデータを更新※させていただきます。

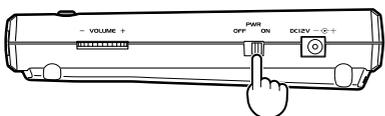
お買い上げ販売店まで、本機をご持参ください。いったんお預かりし、弊社にてデータ更新後に返しいたします。

※駐禁監視エリアのデータは更新できません。

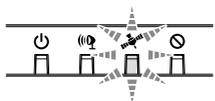
⑦	検問エリア	(● 19ページ)
⑧	取縮エリア・検問エリア圏外	(● 19ページ)
⑨	Nシステム	(● 20ページ)
⑩	マイエリア	(● 25ページ)
⑪	駐禁監視エリア(最重点地域)	(● 21ページ)

GPS測位機能は、本機の電源をONにすると働きます。

GPS測位機能のみOFFにすることはできません。



電源ON後、GPSの電波を受信するまでは、GPSランプが青色に点滅します。



測位アナウンスについて

- GPSの電波を受信すると、『ボーン 測位しました』とお知らせし、GPSランプが消灯します。約5分経過しても、GPSの電波を受信できないときは、『ボーンGPSをサーチ中です』とお知らせします。
- GPS測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約30秒以上続くと、『ボーンGPSを受信できません』と非測位のお知らせをし、GPSランプが点滅します。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『ボーンGPSを受信しました』とお知らせします。
- ビルの谷間など、GPSの電波の受信状態が良くない場合、『ボーンGPSを受信できません』『ボーンGPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。

※測位アナウンスを「OFF」(アナウンス停止)にすることはできません。

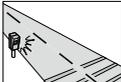
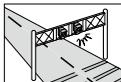
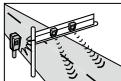
通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

オービス警報について

オービスの種類を識別して音(ボイス)と光(GPSランプ)で警報します。[オービス3段階警報(●18ページ)]

- オービス警報を「OFF」(警報停止)にすることはできません。

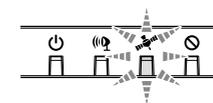
オービスの種類	警報音(ボイス)
ループコイル式	●『ボーン(右/左方向) 1km(500m)先(高速道) ループコイルです』
LHシステム	●『ボーン(右/左方向) 1km(500m)先(高速道) LHシステムです』
新Hシステム	●『ボーン(右/左方向) 1km(500m)先(高速道) Hシステムです』
レーダー式オービス	●『ボーン(右/左方向) 1km(500m)先(高速道) レーダーです』

ループコイル式とは？	LHシステムとは？
<p>オービス(無人式自動速度取締装置)の一種。道路にループコイル式センサーを埋め込んで、その上を通過する車輛の速度を測定。スピード違反の車輛をフィルム式カメラを使用して記録します。</p> 	<p>オービス(無人式自動速度取締装置)の一種。道路にループコイル式センサーを埋め込んで、その上を通過する車輛の速度を測定。スピード違反の車輛をCCDカメラを使用して警察本部へ電送します。</p> 
新Hシステムとは？	レーダー式オービスとは？
<p>オービス(無人式自動速度取締装置)の一種。取縮りレーダー波を車輛に向けて発射して速度を測定。他のオービスと異なる電波を使用し、探知しづらいのが特徴。スピード違反の車輛をCCDカメラを使用して警察本部に電送します。</p> 	<p>一般的にオービス(無人式自動速度取締装置)と呼ばれるシステムの一種。取縮りレーダー波を車輛に向けて発射して速度を測定。スピード違反の車輛をフィルム式カメラを使用して記録します。</p> 

オービス警報中とマイエリア(●25ページ)警告中のGPSランプについて

オービスやマイエリアに近づくと…

- 約1km~500m手前まで点滅(青色)します。
- 約500m手前~直前まで速い点滅(青色)をします。





●オービス3段階警報

ループコイル式/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービスの約1km手前/500m手前/通過時の3段階で警報します。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(「1km先」,「500m先」)を、「この先」や「すぐ先」とお知らせすることがあります。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネル内ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの約500m手前と直前の2カ所*で、出口付近のオービスなどを警報します。

* GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみのお知らせになります。

●左右方向識別ボイス

GPS11 識別は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

- 『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲットの方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ターゲットの反対方向に対しては警報されません。
- トンネル出口ターゲット/取締エリア・検問エリア圏外/駐禁監視エリアは右左方向識別しないため、右左方向識別ボイスは働きません。

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合にお知らせします。

- マイエリア/駐禁監視エリアは高速道識別しないため、高速道識別ボイスは働きません。

●ターゲット通過告知

ループコイル式/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービスの撮影ポイント(*)やマイエリアの通過を告知します。🔊『ポーン 通過します』

* 実際のオービスの直下ではなく、その手前の撮影想定ポイントの通過をお知らせするようにしていますので、通過前に告知される場合があります。

- GPS電波の受信状況などにより、告知が遅れる場合があります。



過去に取締りや検問が行われていた場所があらかじめ登録(取締エリア/検問エリア)されています。取締エリア/検問エリアの1km手前とエリアに入ったとき、エリア圏外になったときの3段階で警告します。

- 取締・検問エリア警告を「OFF」(警告停止)にすることはできません。
- 取締エリアや検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

取締エリアの場合

	警告音(ボイス)
1km手前...	『ポーン 1km先 取締エリアです』 (GPSランプ: 青色点滅)
エリアに入ったとき...	『ポーン 取締エリアです スピード注意 取締エリアですスピード注意』 (GPSランプ: 速い青色点滅)
エリア圏外になったとき...	『ポーン 取締エリア外です』

検問エリアの場合

	警告音(ボイス)
1km手前...	『ポーン 1km先 検問エリアです』 (GPSランプ: 青色点滅)
エリアに入ったとき...	『ポーン 検問エリアです 検問エリアです』 (GPSランプ: 速い青色点滅)
エリア圏外になったとき...	『ポーン 検問エリア外です』



エヌ(N)システム告知について

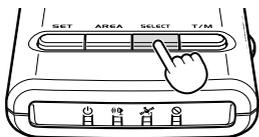
Nシステム告知の設定を「ON」にすると、Nシステムの約300m手前、または通過直前で、『ピポパポーン(右/左方向)すぐ先(高速道)Nシステムです』とお知らせし、GPSランプが速い点滅(青色)をします。

- 初期値(工場出荷時)は「ON」に設定されています。

「Nシステム告知」のON/OFF設定のしかた

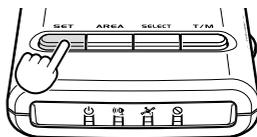
Nシステムに対する告知のON/OFFができます。

1 セレクトボタンを4回押す



「Nシステム ONです」または「Nシステム OFFです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに、『OFFです』⇔『ONです』と交互にお知らせし、設定変更できます。

- 設定変更後は、しばらくそのままにしておくと、設定が終了します。

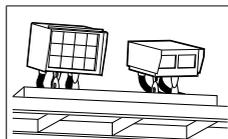
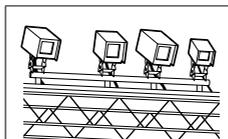
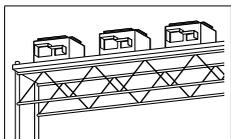
【(Nシステム) ONです】 : Nシステムに対する告知を行います。

【(Nシステム) OFFです】 : Nシステムに対する告知を行いません。

- 「Nシステム告知」した場合でも、実際は稼働していないNシステムもあります。
- 新規のNシステムなどで未登録の場合は、Nシステム告知はされません。

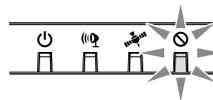
Nシステムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車輛の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。



駐禁監視エリア告知について

駐禁監視エリア告知の設定を「ON」にした場合、本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域内に進入すると、『ポーン この付近駐禁監視エリアです』とお知らせし、駐禁監視エリア内では、駐禁エリアランプが赤色に点灯します。

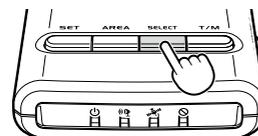


- 初期値(工場出荷時)は「ON」に設定されています。

「駐禁監視エリア告知」のON/OFF設定のしかた

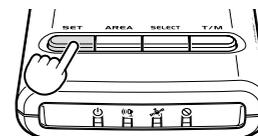
駐禁監視エリアに対する告知のON/OFFができます。

1 セレクトボタンを5回押す



「駐禁 ONです」または「駐禁 OFFです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに、『OFFです』⇔『ONです』と交互にお知らせし、設定変更できます。

- 設定変更後は、しばらくそのままにしておくと、設定が終了します。

【(駐禁) ONです】 : 駐禁監視エリアに対する告知を行います。

【(駐禁) OFFです】 : 駐禁監視エリアに対する告知を行いません。



AAC/ASSの設定を「ON」にすると、AAC/不要警報カットとASS/最適感度選択が働きます。

- 初期値(工場出荷時)は「ON」に設定されています。

AAC/ 不要警報カット

停車中や時速30km未満での走行に対し、レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ)をカットします。

取縮りレーダー波を受信しても、停車中や時速30km未満での走行中は、レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ)を自動的にカットしますので、停車中や低速走行中に取縮りレーダー波と同じ電波(自動ドアなど)を受信しても、警報することはありません。

- GPSの電波を受信できないときは、停車中や時速30km未満の場合でも、レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ)を許可します。

ASS/ 最適感度選択

低速走行中(時速30km以上40km未満)は受信感度を低め、高速走行中(時速60km以上)では受信感度を高めることで、走行速度に応じた最適な受信感度を自動的に選択。

●走行速度が時速30km以上の場合は…

走行速度	受信感度		
30km ~ 39km	シティ		低
40km ~ 59km	ハイウェイ	スーパー感度	↓
60km ~		エクストラ感度	高

- GPSの電波を受信できないときは、停車中や走行速度に関係なく、エクストラ感度(受信感度 高)に固定されます。

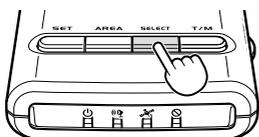
AAC/ASSの設定を「ON」にした場合のAAC/ASS動作状態について

走行速度	受信感度		電源ランプ(点灯)	状態	
0km ~ 29km	-		 (赤色)	レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ)をカットします。	
30km ~ 39km	シティ		 (緑色)	レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ)を許可します。	
40km ~ 59km	ハイウェイ	スーパー感度			↓
60km ~		エクストラ感度			高

- AAC/ASSの設定を「OFF」にした場合、電源ランプはオレンジ色の点灯になります。

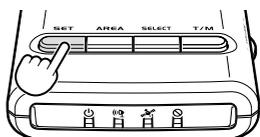
AAC/ASSのON/OFF設定のしかた

1 セレクトボタンを3回押す



「AAC ON です」または「AAC OFF です」とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに、『OFF です』↔『ON です』と交互にお知らせし、設定変更できます。

- 設定変更後は、しばらくそのままにしておくと、設定が終了します。

【AAC ON です】 : AAC/不要警報カット、ASS/最適感度選択が働きます。

【AAC OFF です】 : GPSの受信状態や停車中、走行速度に関係なく、常にエクストラ感度(受信感度 高)に固定されると同時に、レーダーアラーム(Wアラームと接近テンポアップ)も許可します。



インテリジェントキャンセルの使いかた

インテリジェントキャンセル(アイキャンセル)の設定を「ON」にすると、取締りレーダー波と同じ電波(自動ドアなど)でレーダーアラーム(●14ページ)が作動(誤警報)する場所を通過した際、GPSによって取得される位置情報を誤警報エリアとして自動で登録し、2回目以降同じ地点を通過時にレーダー波を受信した場合、レーダーアラームをキャンセルします。

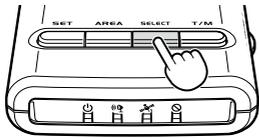
誤警報エリア登録数は100カ所まで登録され、それを超えると通過履歴の最も古いものを削除し、新しい誤警報エリアを登録します。[インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号]

- 初期値(工場出荷時)は「ON」に設定されています。

「インテリジェントキャンセル」のON/OFF設定のしかた

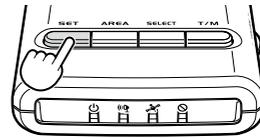
インテリジェントキャンセルのON/OFFができます。

1 セレクトボタンを2回押す



「アイキャンセル ONです」または「アイキャンセル OFFです」とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに、『OFFです』⇔『ONです』と交互にお知らせし、設定変更できます。

- 設定変更後は、しばらくそのままにしておくと、設定が終了します。

「(アイキャンセル) ONです」 : インテリジェントキャンセルが働きます。

「(アイキャンセル) OFFです」 : インテリジェントキャンセルが働きません。

インテリジェントキャンセルのしくみ

- 1 取締りレーダー波と同じ電波(自動ドアなど)を受信するとレーダーアラーム(●14ページ)が作動。[1回目]
- 2 取締りレーダー波かどうかを識別。
- 3 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」(アイキャンセルエリア)として自動登録。
- 4 同じ地点を通過時にレーダー波を受信した場合、レーダーアラーム(誤警報)をキャンセル。[2回目以降]



- GPSの電波を受信できないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- 自動登録された誤警報エリア(アイキャンセルエリア)は、本設定や電源をOFFにしても消去されることはありません。

自動登録された誤警報エリア(アイキャンセルエリア)をすべて消去するには…

セットボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン アイキャンセル』とお知らせし、すべて消去します。

- すべて消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 自動登録された誤警報エリアを個別に消去することはできません。



警告させたい地点を登録する(マイエリア)

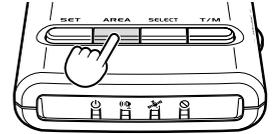
移動オービスがよく出没するポイントや、新たに設置されたオービスポイントなどを登録することができます。[マイエリア登録]

- マイエリア登録数は30カ所まで可能で、30カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の最も古いエリアを削除し新しいエリアを登録します。

マイエリア登録する

登録したい地点でマイエリアボタンを押します。

登録が完了すると、『ポーン マイエリアをセットしました』とお知らせします。



<すでにマイエリア登録されていたポイントのとき…>

『ポーン マイエリアにセットされています』とお知らせします。

<GPSの電波を受信できず、マイエリア登録できなかったとき…>

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したポイント(マイエリアポイント)を個別消去するとき…

マイエリア登録されているポイント(『ポーン ○○km先 マイエリアです』と警告する場所)で、マイエリアボタンを長押し(約1秒)すると、『ポーン マイエリアを解除しました』とお知らせします。

マイエリア登録したポイント(マイエリアポイント)を全消去するとき…

マイエリアボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン マイエリアを解除しました』とお知らせし、すべて消去されます。

- すべて消去すると、元に戻せませんので、ご注意ください。

マイエリア登録したポイント(マイエリアポイント)に近づくと…

約1km手前/500m手前/通過時の3段階で警告します。

警告音(ボイス)	
約1km/500m手前のとき…	● 『ポーン(右/左方向) 1km(500m)先 マイエリアです』
通過時…	● 『ポーン 通過します』

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(「1km先」、「500m先」)を、「この先」や「すぐ先」とお知らせすることがあります。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

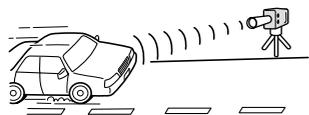
スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流であると思われます。



2. 距離と時間で算出する方法(ループコイル式・LHシステム)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、探知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方からの信号であっても、受信します。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

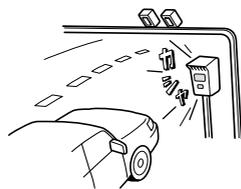
人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機

(新Hシステム、レーダー式オービス)
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。
- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧 : DC 12V(マイナスアース車専用)
消費電流 : 待機時: 75mA以下
最大: 170mA以下
受信方式 : [GPS部]
16チャンネル/パラレル受信方式
[レーダー部]
スイープオシレーター式ダブルスーパヘテロダイン方式

受信周波数 : [GPS部] 1.6GHz帯
[レーダー部] Xバンド/Kバンド
動作温度範囲: -20℃~+85℃
本体外寸法 : 51(W)×20(H)×99(D)mm
本体重量 : 70g

※この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

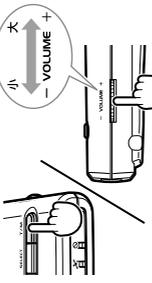
症状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチがONになっていますか。(●12ページ) シガープラグコードが外れていませんか。 シガーライターソケット内部の汚れなどで、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しい管ヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションを抜いても電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本体のスイッチを切ってください。
取締り現場でレーダーアラームが動かない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていましたか。電源ランプを確認してください。(●12ページ) 音は出ていますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 取締りレーダー波が発射されていますか。計測する瞬間だけ(スピードを出さずにいる車輻に対し)電波を発射するステルス型や取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。レーダー波を発射しない(光電管式やステルス型取締りなど)場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。 インテリジェントキャンセルが働いていませんか。(●24ページ) AA C/AASの設定がONで、時速30km以下のときはレーダーアラームは作動しません。(●22ページ)
オービス警報しない	<ul style="list-style-type: none"> GPSの電波を受信していましたか。(●16ページ) 新たに設置されたオービスではありませんか。
取締りもしていないのにレーダーアラームが働く	<ul style="list-style-type: none"> 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— 電波式の自動ドア、防犯センサー/信号機の近くに設置されている車輻通過計測機/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部 まれに他の無線機や電装機器などの影響を受けることがあります。その場合は本機の取り付け位置を変えてみてください。
音量が勝手に小さくなる	<ul style="list-style-type: none"> レーダーアラーム音(Wアラームの警報音と接近テンポアップの警報音)が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。(オートクワイアット/オートディママー)
Nシステム告知しない	<ul style="list-style-type: none"> 「Nシステム告知」を「ON」に設定していませんか。(●20ページ) GPSの電波を受信していませんか。 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報エリアでキャンセルされない	<ul style="list-style-type: none"> インテリジェントキャンセルの設定を「ON」に設定していませんか。(●24ページ) GPSの電波を受信していませんか。 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
各種無線を受信しない	<ul style="list-style-type: none"> 本機は無線受信機能を搭載しておりませんので、各種無線を受信することができません。

GC-200 簡単操作ガイド

● はさみなどで切るときは、ケガなどにご注意ください。

■ 電源を入れる
車のエンジンを始動し、電源スイッチをONにします。

■ 音量を調節する
テスト&ミュートボタンを押しながら音量ツマミを回します。



お好みの警報音を選ぶ

■ レーダーアラーム音の選択方法
1 **[SELECT]** ボタンを1回押す
「ボイス ONです」または、「ボイス OFFです」とお知らせします。

2 **[SET]** ボタンを押す
「SET」ボタンを押すこと、「OFFです」⇄「ONです」と交互にお知らせし、設定変更できます。

・「ONです」のお知らせで「ボイス」/「OFFです」のお知らせで「電子音」に設定されます。

ミュート機能

■ 取締りレーダー波の発信元が確認できたら...

レーダーアラーム作動中に**[T/ M]** テスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、Wアラームの警報音と接近テンポアップの警報音を一時的に止めることができます。

エヌ(N)システム告知

■ 「エヌ(N)システム告知」のON/OFF設定のしかた

1 **[SELECT]** ボタンを4回押す
「Nシステム ONです」または、「Nシステム OFFです」とお知らせします。

2 **[SET]** ボタンを押す
「SET」ボタンを押すこと、「OFFです」⇄「ONです」と交互にお知らせし、設定変更できます。

駐禁監視エリア告知

■ 「駐禁監視エリア告知」のON/OFF設定のしかた

1 **[SELECT]** ボタンを5回押す
「駐禁 ONです」または、「駐禁 OFFです」とお知らせします。

2 **[SET]** ボタンを押す
「SET」ボタンを押すこと、「OFFです」⇄「ONです」と交互にお知らせし、設定変更できます。

AAC/ASS

■ 「AAC/ASS」のON/OFF設定のしかた

1 **[SELECT]** ボタンを3回押す
「AAC ONです」または、「AAC OFFです」とお知らせします。

2 **[SET]** ボタンを押す
「SET」ボタンを押すこと、「OFFです」⇄「ONです」と交互にお知らせし、設定変更できます。

インテリジェントキャンセル

■ 「インテリジェントキャンセル」のON/OFF設定のしかた

1 **[SELECT]** ボタンを2回押す
「アイキャンセル ONです」または、「アイキャンセル OFFです」とお知らせします。

2 **[SET]** ボタンを押す
「SET」ボタンを押すこと、「OFFです」⇄「ONです」と交互にお知らせし、設定変更できます。

■ アイキャンセルエリアの全消去

[SET] ボタンを約30秒間押し続けたままにする
「ボーン ポーン アイキャンセル」とお知らせし、すべて消去されます。

警告させたい地点を登録する(マイエリア)

■ マイエリア登録(30カ所まで)

[AREA] ボタンを押す
登録が完了すると「ボーン マイエリアをセットしました」とお知らせします。

■ マイエリアポイントの個別消去

「ボーン ○○km先 マイエリアです」と警告する場所で**[AREA]** ボタンを長押し(約1秒)すると「ボーン マイエリアを解除しました」とお知らせします。

■ マイエリアポイントの全消去

[AREA] ボタンを約30秒間押し続けたままにする
「ボーン ポーン マイエリアを解除しました」とお知らせし、全消去されます。



アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●修理をご依頼される時

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

※修理期間中における代替品等はございませんので、あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●GPSデータの更新について

本機には、あらかじめオービス(無人式自動速度取締装置)やNシステムなどのGPSデータが登録されています。

新規登録ポイントを盛り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料(送料別・税込¥5,250)にてデータを更新※させていただきます。

お買い上げ販売店まで、本機をご持参ください。いったんお預かりし、弊社にてデータ更新後に返しいたします。

※駐禁監視エリアのデータは更新できません。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-5599**

故障相談や修理のご依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。